

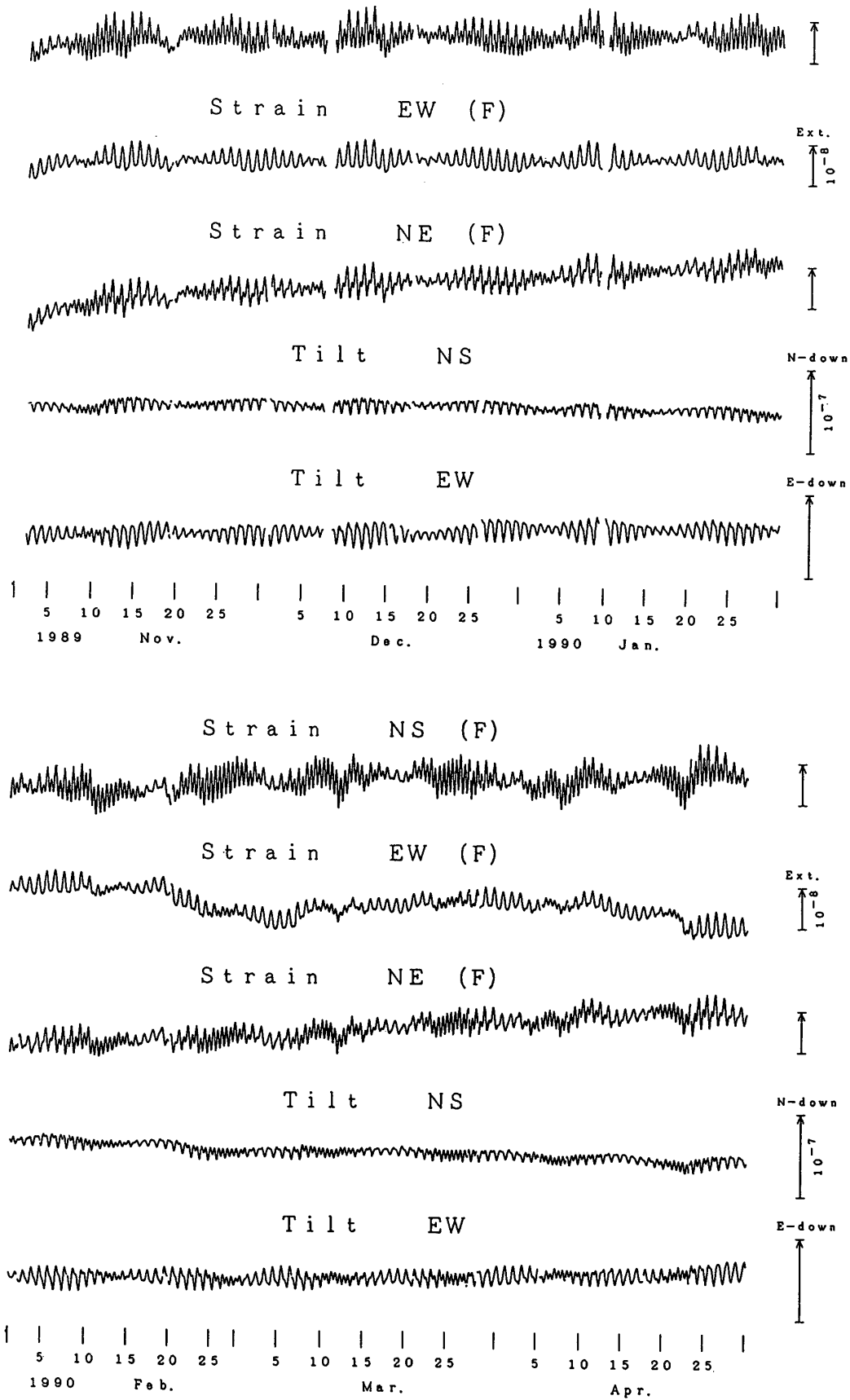
2-4 江刺における地殻変動連続観測

Continuous Observations of Crustal Movements at the Esashi Earth Tides Station

国立天文台水沢

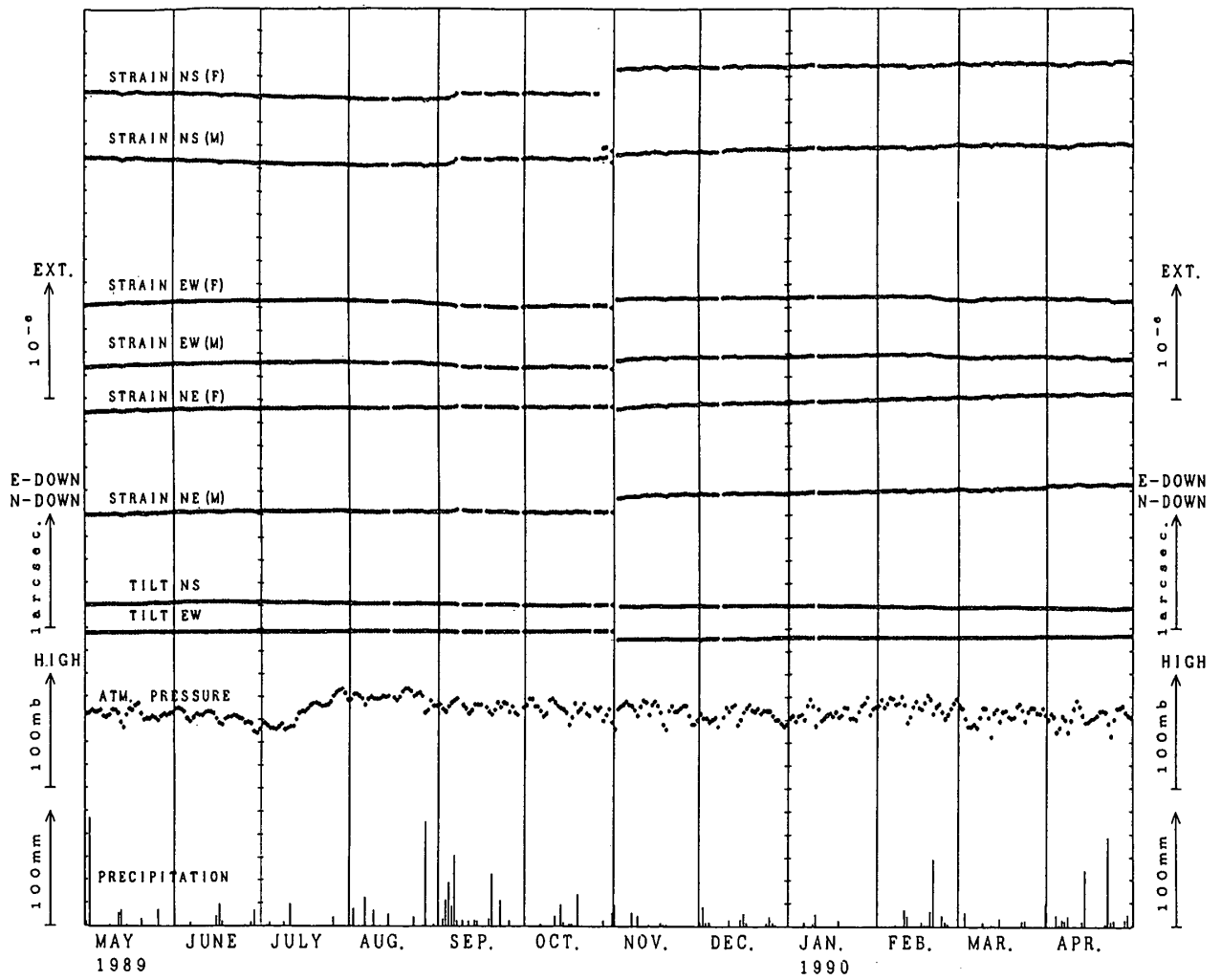
National Astronomical Observatory, Mizusawa

国立天文台水沢観測センターの江刺地球潮汐観測施設において1990年4月までに得られた地殻変動連続観測結果を報告する。観測機器とその配置については既報（予知連会報42巻，P.66）のとおりである。第1図には最近6カ月間の石英管伸縮計と水管傾斜計の各成分の毎30分値を示す。第2図以下のデータはすべて日平均値であり，第2-4図は最近の1年間，第5図は施設開設以来の変動を示している。1989年10月末から11月初にかけての三陸はるか沖の地震活動の際には，歪および傾斜の各成分にstepが認められた。しかし，この時はたまたま事前計画に基づく坑内作業と時期が重なったため，stepには自然現象と人為効果の両方が反映しており，その分離は困難である。これを例外として，最近1年間は従来にひきつづきいずれの成分もおおむね静穏に経過した。



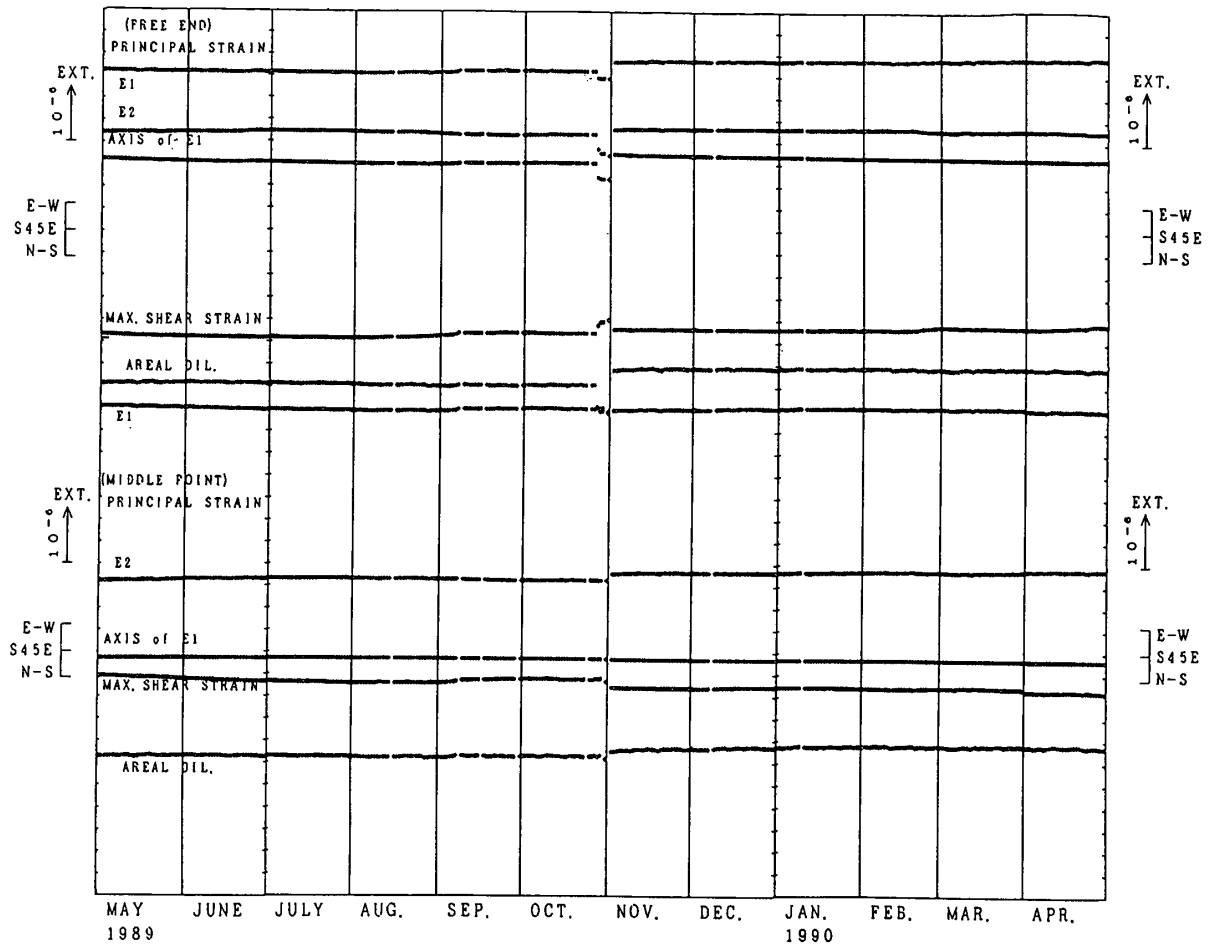
第 1 図 1989年11月～1990年4月の傾斜および歪変化（毎30分値）

Fig. 1 Every 30 minutes data of observed ground tilt and strain with water-tube tiltmeters and quartz-tube extensometers during November 1989 – April 1990.



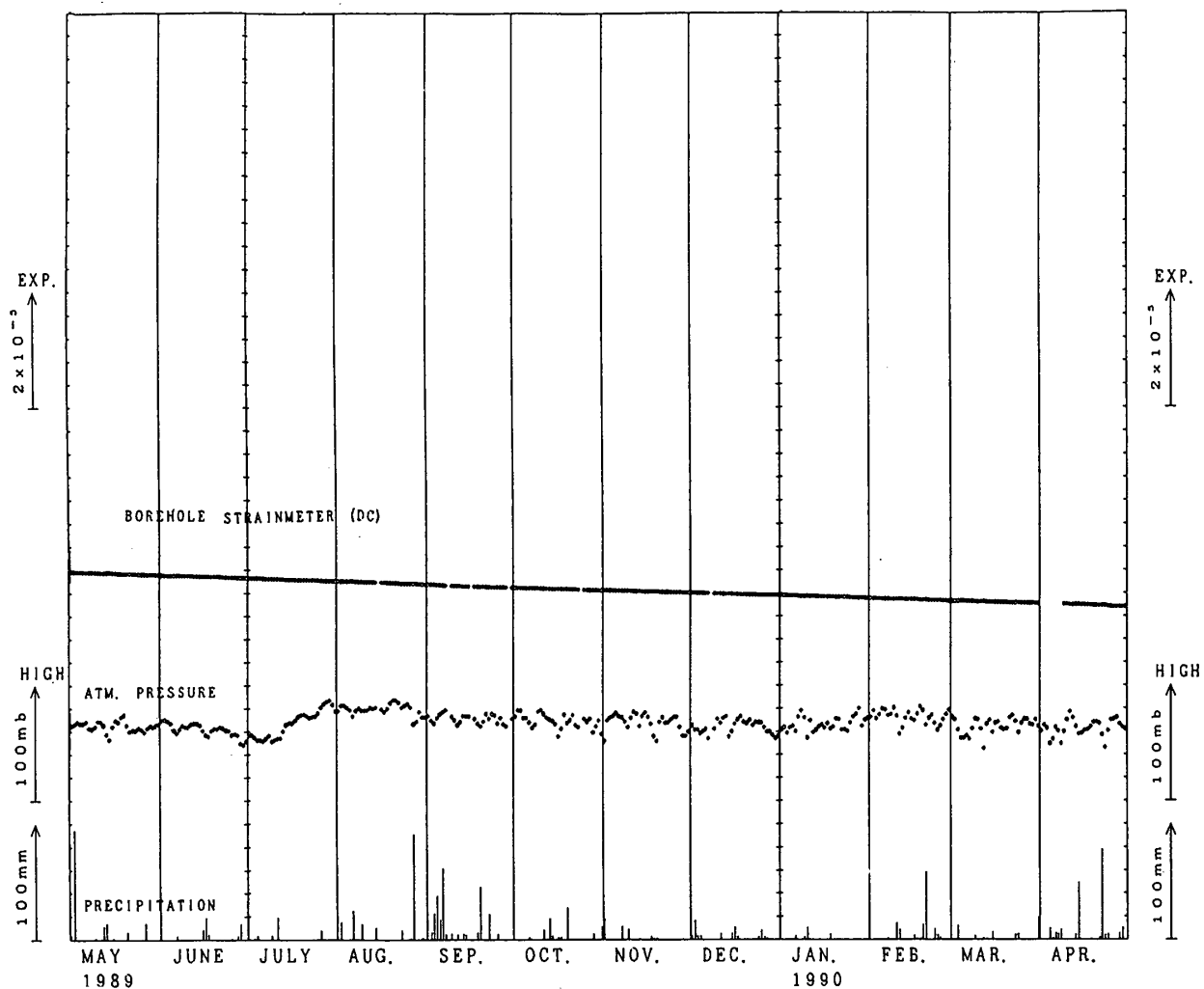
第2図 最近1年間の傾斜および歪変化（日平均値）

Fig. 2 Daily means of observed ground tilt and strain during May 1989 – April 1990.



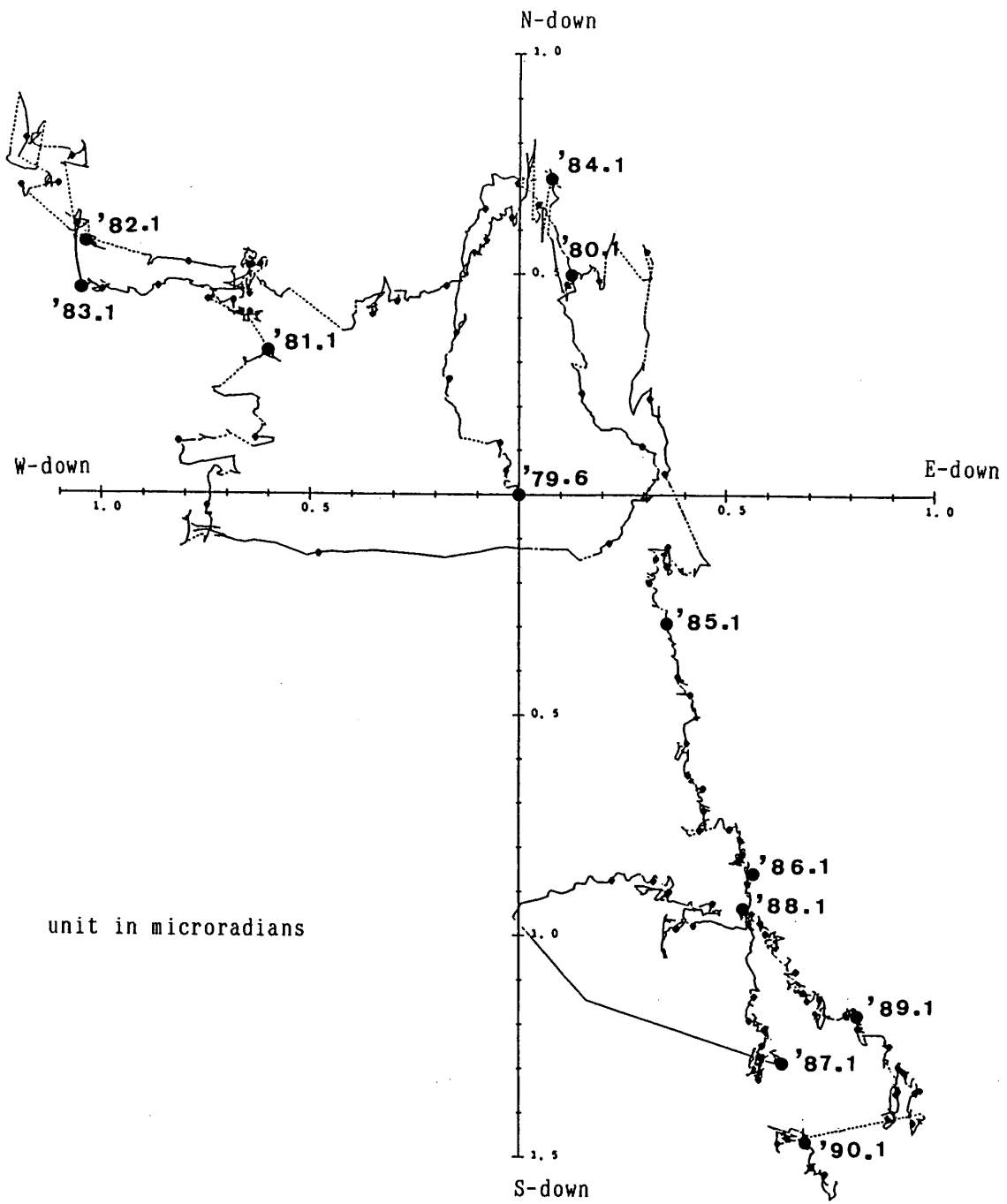
第3図 主歪，最大剪断及び面積歪

Fig. 3 Daily means of derived principal strain, maximum shear strain and areal dilatation.



第4図 ボアホール歪計による地盤の体積歪

Fig. 4 Daily means of volumetric strain with a borehole strainmeter.



第5図 地盤傾斜の経年変化

Fig. 5 Secular tilting motion since 1979.